

鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会 令和元年度第2回会議 会議録

日 時：令和元年11月20日（水） 午後3時～午後5時

会 場：きらり鎌ヶ谷市民会館内 中央公民館 学習室5

出席委員：平栗三男委員長、齋藤譲一副委員長、菅井浩樹委員、清水暉允委員、
内山治委員、伊藤眞由美委員、植草ひろみ委員、小川由美子委員、
石井圭子委員、佐瀬光代委員、榎本美紅委員、加藤嘉美委員、渡部克弘委員

事務局（市民会館）：斉藤生涯学習部参事（事）市民会館長、平澤主査、石毛主事

※市民会館長は、第6号委員でもある。

その他出席者：指定管理者予定者 株式会社セイウン 加藤寿一、宮澤大輔、小口菜月

欠席委員：柳昌孝委員

傍聴者：0人

（1）開会

- ・委員長あいさつ
- ・自己紹介
- ・会議録署名人は、加藤委員、渡部委員に決定。

（2）報告事項

①報告第1号「指定管理者指定の経緯及びきらりホール運営の提案内容について」

～事務局より、資料1に沿って説明～

～株式会社セイウンより、資料2に沿って説明～

委 員：市民を巻き込んで声を聴き、市民の意見を取り込んで欲しい。

委 員：他ホールで行っている主催事業の集客率はどのくらいか。

セイウン：常に満席を目指してはいるが、多くの事業で8割くらいの集客率である。

委 員：インターネットでのチケット販売を導入する予定はあるか。

セイウン：インターネット販売は考えていないが、電話予約のほかに、イープラス、ローソンチケットの導入を考えている。

委 員：ホール運営のプロとして、ホールを有効活用したステージ作りについての相談窓口になっていただき、一緒に作っていただけると嬉しい。

委 員：「世界に一つだけの施設」となるように取り組むということだが、具体的にどのようなことをやっていただけるのか。

セイウン：今の段階で何か一つに特化することはできないが、中規模館ならではの強みを生かして、身近な催しから都会に行かなければ見られなかったような催しまで、幅広いジャンルの催しに力を入れていきたい。

委員：管理している全ての施設で上手くいっているのか。

セイウン：全ての物件で想いを持ってご提案しているが、予想が外れてしまったり、先方の求めているものと違ったり、市民や自治体の皆さんからご理解していただけないことはある。

②報告第2号「令和2年度主催事業の提案内容」について

～事務局より、資料1に沿って説明～

～株式会社セイウンより、資料3に沿って説明～

委員：ワンコインコンサートはよい企画だと思う。曲目や内容の選定、ターゲットの絞り込みが重要だ。

委員：手軽さを売りにするのであれば、終演時間や曲目が分かるといい。

委員：主催事業は演芸と音楽が多いが、芝居やダンスの公演も考えているのか。

セイウン：今ある価値を守りながら、新たな考えをプラスして伸ばしていきたい。きらりホールは音楽だけのホールとは考えていないので、可能性のあるものを取り入れていきたい。

委員：テレビで見るような人にも来て欲しいが、市民が自分達の手だけでホールを借りることは難しいので、市民や市民団体が参加し、ホールに立つ喜びを感じることのできる企画も大切だ。

お笑い芸人と一緒に行う「笑育プロジェクト」だけでなく、芝居や音楽を育児と結び付けたプログラムも企画して欲しい。

セイウン：笑育プロジェクトは漫才を作ることが目的ではなく、生徒同士で漫才を作って発表するまでの過程において、想像力や発想力を伸ばしていくプログラムである。芝居や音楽を介したプログラムと同じようなものである。今後、ご指導いただきたい。

委員：図書館とホールが近いので、タイアップした企画ができればよい。

セイウン：事例として、図書館職員が選定した図書の朗読会をホールで行い、お客さんが図書館に感想文を送るという企画を行ったことがある。鎌ヶ谷市でも、今後、タイアップ企画をやっていきたい。

委員：新規の主催事業が11あるが、市民がきらりホールを使える日が減ってしまうのではないかと。現在でも、ホールの予約を取るのが難しい状況だ。

セイウン：内容は新しいが、現在の事業数とそれほど変わらないはずである。興行のために管理する訳ではないので、市民の皆様の利用の隙間で事業を行っていきたいと思っている。皆様にご迷惑をお掛けしないようにしていきたい。

委員：今までの申込み方法を変える予定はあるか。

セイウン：変える予定はない。

(3) その他

①令和2年度鎌ヶ谷市きらりホール主催公演提案について

～植草委員より、資料に沿ってご提案～

委員：9月に実施した「きらりホールで聴く、極上の弦楽合奏 ヴィヴァルディの四季から映画音楽まで」は、一般公募弦楽器奏者の参加者も多く、ホールと地域との関わりを深めていく上でもいいプロジェクトだったと思う。

委員：「千葉県子ども合唱フェスティバル」という合唱発表会を、毎年1回、各市町村の持ち回りで開催している。令和3年度のゴールデンウィークか7月に、鎌ヶ谷で開催したいという声が上がっているのだが、どのように働きかければよいか。来年度は八千代市で開催する予定で、市町村によっては、市教育委員会のご協力をいただいて、施設をご提供いただくこともある。

委員：540名のホールで観客は足りるのか

委員：満席になることはないと思う。

委員長：ほかに質問がなければ、これで閉会にする。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和元年12月12日

氏名 加藤 嘉美

氏名 渡部 克弘